

現行の県立高校将来構想の枠組み

(環境変化・社会的要請)

生徒の多様化
 様々な能力、適性、興味・関心、進路意識等を持った生徒

中学校卒業生数の減少
 (H1) 35,100人 → (H12) 29,600人
 → (H23) 23,000人

地域社会との連携
 相互交流による学校教育の充実

男女共同参画社会に向けた取組
 (H12) 全日制高校82校(4分校含む) 中別学22校、共学60校

魅力ある学校づくり、開かれた学校づくり

(施策目的)

多様な生徒の実態に対応して、各学校が生徒それぞれの個性を最大限伸ばせる高校づくりをする。

活力ある学校規模を維持する。

学校の説明責任を果たす。

学校の教育資源を地域などに提供する。

性差による入学制限をなくす。

(施策)

特色ある学科の設置

総合学科の設置(各地区に1校以上)
 単位制高校の設置(各地区に複数校)
 専門学科の設置・改編

全日制高校の充実

多様な選択教科・科目の開設
 社会動向・産業構造変化に対応した教育課程の見直し
 体験学習の一層の充実

定時制高校・通信制高校の充実

40人未満学級編成の検討
 昼夜間定通併修独立校の設置

中高一貫教育・中高連携教育の推進

中高一貫教育校の複数設置
 中高連携教育の普及推進

多様な個性・特性に対応した教育の推進

指導内容・方法、評価の工夫・改善
 みやぎアドベンチャープログラム(PA(Project Adventure)の手法を取り入れた宮城県独自の教育手法)の全県的導入
 スクールカウンセラーの全校配置
 生き方・在り方に踏み込んだ進路指導の充実
 体験学習・職場体験の積極的導入

全日制高校の適正配置

1学年6学級規模校の各地区配置
 1学年1~2学級規模校の原則再編
 普通科率(総合学科含む)の確保

定時制高校・通信制高校の適正配置

昼夜間定通併修独立校の設置
 昼夜間開講定時制独立校の設置

学校評議員制度の導入

学校の自己点検・自己評価システムの導入

生徒の授業評価の充実

学校自由見学日の設定

学校情報の積極的発信

学校施設の開放

社会人の授業聴講制度の導入

他機関との人材交流

単位互換制度の導入

教育諸条件の整備

- 教職員配置等の検討
- 教員研修制度の充実
- 空き教室の有効活用
- 新学習指導要領に対応したPC整備・人材確保

新県立高校将来構想の枠組み

資料5②

(環境変化・社会的要請)

(施策目的)

(施策)

これからの地域社会を支えていく意欲や創造性に富んだ人づくり

社会経済環境が大きく変化
化する中、自らの進路を
切り拓ける人材を育成

地域社会との連携

相互交流による学校教育の充実

生徒の多様化

様々な能力、適性、興味・関心、
進路意識等を持った生徒

中学校卒業者の減少

(H1) 35,100人 → (H22) 22,800人
→ (H32) 19,700人

社会経済環境の変化や高校教育
に対する社会的要請を踏まえ、
未来を担う人づくりをする。
◇主体的に生き抜く力の育成
◇人と関わる力の育成

地域の教育資源を活用するとともに、
地域貢献する。

生徒それぞれの個性を最大限伸長
できる高校づくりをする。

産業構造の変化、地域
の教育ニーズを踏まえ
た高校づくりをする。

学校再編を通じて教育環境・教育内容を
整備・充実する。

学力の向上

基礎基本となる知識の定着
知識を活用した課題解決力の育成
人間関係を構築する力の育成
学校外の教育資源の活用

キャリア教育の充実
～志教育の充実～

勤労観・職業観の育成
変化に対応できる基本姿勢の育成

教育環境の充実
学校経営の改善

教員の資質の向上
学校改善の定着
効果的・効率的な施設整備の推進
多様な生徒の受入体制の整備

地域のニーズに応える
高校づくりの推進
～地域とともに生きる
高校づくり～

開かれた高校づくりと安全対策の
強化
地域とつながる高校づくりの推進

学科の設置・改編

普通科の教育課程の工夫
専門学科の設置・改編
総合学科の教育課程の工夫、設置検討
2部制・多部制定時制校の設置検討
中高一貫教育校の教育内容の充実・
設置検討
単位制の教育内容の充実
総合産業高校の設置検討

学校の再編整備

学校の活力維持・教育機能の発揮
各地域での高校の役割・期待に対応
学校・学科の選択の機会均等に配慮
市立高校・私立高校との協調